

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www4.tokai.or.jp/Junya_susono/

裾野市議会 9月定例会が開催されました。

■一般質問（視点を変えてみよう!）

一般質問は議員に与えられた特権の一つで声を直接市政に対して届けることができる権利です。今回は、これまででも議会で話題になったであろう課題を、私の視点で活用方法と併せて訴えてみました。私としては一石二鳥・三鳥となるチャンスがあるものを取り上げたつもりですが・・・。



①有害鳥獣の鹿を地域資源としてブランド化し地域活性化につなげよう!

後継者育成に悩む猟友会に捕獲を頼むだけの対策からみんなで取り組む産業につなげ、農地・雇用・産業・猟友会を守ろうという視点。

ジビエ料理や皮製品として、活用事例のある肉や皮、角など活用すれば、処理する過程に雇用が生まれ、販売収益で捕獲者の収入源ともなる。ビジネスとしての魅力を引き出す事で、各後継者の道も開ける。更に困っている市町が連携することで捕獲者数、販路も拡大する。駆除から活用に転換し、地方創生に役立てよう!

Q1. 資源の活用の為、食肉加工センターを裾野市に設置するべく近隣市町と協議しないか?

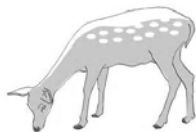
A. 食肉としての活用には、衛生管理、年間を通じた供給数や販路の課題、施設としては建設費と採算性に課題がそれぞれあり検証が必要。ただ広域連携による共同事業は、これら課題解消の可能性をもつ。捕獲数の多い市（御殿場）の意向が重要な為、意向を伺い検討したい。

Q2. 広域による地域ブランド化は地方創生新型交付金のメニューの一つ。設置補助金活用の為、裾野市がその口火を切り、主導しませんか?

A. 市単独で実施は難しいことから、鹿被害にあって市町への意向確認は検討したい。

【要望】

2023年の国の目標捕獲頭数必達には、現在の2倍以上の捕獲が必要。富士市では女性の猟友会入会によるPRや、猟期以外の捕獲委嘱で580頭近いプラス実績を出している。捕獲事業に魅力を生み、PRすることが必要で、抜本的改革に取り組んで頂きたい。耕作放棄地や農業意欲の喪失を防止するためにも!



②首都圏からの移住を視野に入れ、バスの活用を!

首都圏から100km圏内の田舎として人気がある一方「自家用車が無いと不便」という負のイメージを早く一掃するべきという視点。

隣町長泉町は通勤・通学の利便性から人口が増加中。三島市への転出が続くが、沼津や関東圏域からは転入が継続している。肝心の裾野との関係は、実は転入から転出へと変化中。つまり裾野に人が移り住んでいる!。長泉と裾野の違いで最大の理由は「公共交通の利便性」。それなら充実させて人口を増やすべくPRすべきでしょう!

Q1. 首都圏から100km圏内である裾野市への人口流入誘導対策は?

A. 住宅等対策と併せ、道路網を活用した公共交通を充実させながら、人口定着を進めたい。

Q2. 投資により比較的自由度が利くバスを活用し、通勤・通学に便利なまちをPRしないか?

A. バス交通は、渋滞対策や環境配慮にこたえず、高齢化社会にも対応できる手段。主要幹線を維持しつつ、三島駅までの直通バス導入など、対象を見据えた更なる利活用の可能性を検討したい。

Q3. バス事業者の収益性も重要で路線集中は必須。すその一や各搬送車の高効率活用検討を!

A. 高速や企業専用バスは事業者の収益構造改善策として期待。来年償還を迎える自主運行バスの他、実証実験中のデマンドタクシー等の活用により、周辺地域における市民の足の維持・確保にむけ協議していく。



③就労訓練を中心市街地で行い、まちづくりの特色にしてはどうか!

区画整備と商店街の賑わいは別のもの!今の駅前には賑わいが無い。起爆剤となる事業を投入しすぐにでも賑わいを取り戻すべき!

Q1. 沼津市に「たくみ農園」というレストランがある。連日にぎわっているが実は店員の一部は就労訓練中。この事業所の目的は就労訓練だが即戦力人材を作り上げている。裾野駅前にもこの仕組みを取り入れ、人の流れを作り、さらに各商店で訓練協力すれば即戦力となる人材育成する他、モデル的商店街となり注目を集められ、賑わいにもつながる。駅西の起爆剤としてどうか。

A. 「にぎわい創出のための議論」が現在行われていないが、商店街や店主との協議の場を設け、提案のある方法についても協議・検討いただける様、紹介したい。

■一般会計補正予算（第2回）

105,000千円の補正を可決しました。
私が注目しているのは次の2つ。

①小中学校に図書館司書を4名配置すること。
配置がないのは県内で7市町のみ。1日4Hの配置ですが、読書を通じた子供たちの成長に期待したいです。H28年度は全校に配置されると良いですね！

②宅地分譲補助金の増＝分譲地の増加

当初25区画の予定でしたが、現在15区画が整備済み。これに石脇12区画、岩波10区画、富沢10区画が予定され、予算不足の増額。市街化区域が早くしっかり整備されることが、全体のまちづくりに影響します。あとは住宅が建つかどうかですが・・・。

■裾野市 平成26年度決算

（一般会計）（前年度比）

歳入決算：210億4843万5千円（3.4%増）

歳出決算：201億1469万2千円（3.0%増）

（総決算額）・・・一般＋7特別会計の合算

歳入決算：310億1521万6千円

歳出決算：296億2861万1千円

9月に行われる決算審査の対象は、H26年の結果。民間企業では、前期決算を見込み、反省を踏まえ今期の予算を組みますが、行政は年度毎区別して予算を組む為、前年度の反省が今年にすぐ活かされる仕組みとなっておりません。H26年度の反省は、早くともH28年度予算に反映されることとなります。

今回の決算審議では各事業の振り返りから、来年度の予算の必要可否、増減額の要否等導くような質疑が多くありました。また、市の各種計画と事業の目的があっているかどうかの確認も多くされていたように感じました。

H28年度予算に反省や我々の意見が、どのように反映されるのか、しっかり確認したいと思います。

■行政報告（抜粋）

①災害支援協定（市とトヨタ、TMEJ、三菱、ヤマト）
企業の影響もあり昼間の裾野市の人口は夜間よりも多くなっています。有事の帰宅困難者は想像を遥か凌ぐ数となるでしょう。企業独自の対応、敷地や設備の協力を得ることは結果的に市民の支援の充実につながります。地域が早期に復興すれば企業の事業もいち早く復旧することになります。互いに協力しあう事のメリットを考慮し、まずは4社と締結しました。矢崎等残る企業とも詰め作業が行われており、防災・減災に強いまちづくりが進行中です。

②2市1町消防指令センター開所

三島、長泉、裾野広域指令センターが開所しました。各署の消防車、救急車が一括管理され、発災時において携帯電話による通報でも精度高く連絡地を特定でき、より迅速・的確に駆け付け対応できるようになります。安心生活に期待が膨らみます。くれぐれも迷惑な電話はしないようにしましょう！



画面には、各地の気象状況、各車両の稼働状況も映し出されます。

裾野市「平和都市宣言」について （10月末まで、ご意見募集中！！）

「市民一人ひとりが安心して暮らせる社会の実現の為に、平和について再認識するとともに、世界恒久平和という、人類共通の願いが込められたものとなるよう検討を重ね、原案作りを行った」そうです。未来永劫続く宣言です。10月末まで市民の皆様の意見を募集しております。私も提出しますが、皆さまもぜひご意見をお寄せください。

各種活動のご紹介

富岡夏祭りにて挨拶を担当



厚生文教委員会の視察
（恵庭市、豊浦町、千歳市）



交通安全週間の啓発立哨



ピアサポート講習会



会派として要望書を市長に提出



政治専科（議員活動基礎コース）



富小100歳先生の講話聴講



視察所感や感想等は、ホームページに、日頃の活動はフェイスブックで掲載しています。そちらもぜひご覧くださいませ！